

「食の心理メカニズムを司る食嗜好性変容制御基盤の解明」(PM: 喜田 聡) (2022年～2024年) キーワード: 食の心理と愉しみ、食嗜好性の変化、食を通じての幸福感

1. プロジェクトのねらい

2050年までに、好き嫌いをなくし、健康な食を愉しんで食べることができる食習慣への改善技術を開発する。これによって、健康な食を美味しく感じ、心身共に健康となり、こころに活力がみなぎる社会を実現する

●目標9で達成を目指す社会像との関連

- ①健康第一の食により愉しみを享受し、幸福感が得られる(個人)。
- ②食を通して他者とつながり、共感が得られる(集団)。
- ③健康な食により快感をも獲得し、ストレスが少ない(社会)。



●幸福増進指標との関連

①前向き-ワクワク感、感動、喜び

食による快感、すなわち、ワクワク感、感動や喜びが得られるメカニズムを明らかにする。そして、食習慣を改善する技術開発確立を目指すことで、健康第一の食によりワクワク感や感動が得られるようにする。

②共感-一体感、連帯感(社会性-親近感)

一体感、連帯感、親近感により健康な食を愉しむことができる技術確立を目指し、食により共感が産まれる技術の開発に貢献する。

2. 研究開発プロジェクトのマイルストーン(達成目標)

3年目のマイルストーン

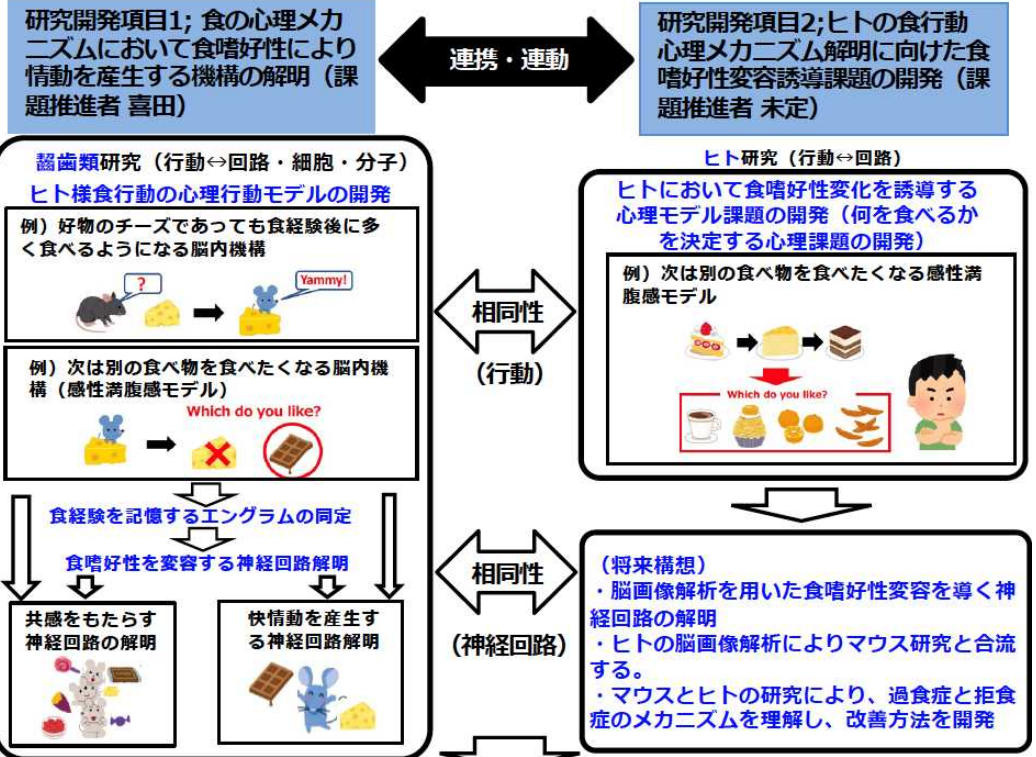
健康に優しい食の愉しみを通してこころ豊かな状態を叶えるための基盤技術を開発する。

3. プロジェクトの全体構成

●プロジェクトの概念図 ●研究開発項目及び実施体制

食行動の心理メカニズムを解明することで、健康に優しい食を愉しんで食べる健康型食スタイルにより心を豊かにする基盤技術を開発する (PM; 喜田)

研究開発項目;食の心理メカニズムを司る食嗜好性変容制御基盤の解明



嗜好性の心理メカニズムの解明: 食嗜好性が後天的に変容し、食習慣が変化するメカニズム、さらに、食により心が豊かになるメカニズムが解明される

好き嫌いを苦痛なしで克服し、健康な食を愉しんで食べることのできる食習慣改善技術の開発

最終ゴール; 研究成果を利用して、食の愉しみにより幸福感を得て、こころに活力がみなぎる社会を実現するを社会に提供する

